＜第4回 前林地域会議 会議録＞

日時 令和7年7月17日（木） 19:00～20:30
場所 前林交流館 多目的ホール
出席者 委員 18名
事務局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、鈴木担当長、山口書記
交通政策課 愛川担当長
オブザーバー 日當市議、長谷川交流館長

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

(1) 第3回前林地域会議会議録について

- ・事務局より説明

(2) 交通安全事業の進捗について

- ・事務局より7月11日（金）に堤町自治区で開催された堤自治区学童の登下校時安全確保推進会議にトヨタ自動車の担当者と出席、プローブデータの説明を実施したことを説明

(3) 高岡4地域合同事業の進捗について

- ・事務局より6月28日（土）に開催されたマイタウンおいでん高岡にラリー周知と交通安全啓発に関するブースを出展、「とまってくれてありがとう」ぬり絵コンテストを実施し、約50人が参加した（9月20日の「高岡ファンまつり」でコンテストの結果を発表）ことを説明
- ・事務局より今年（平成32年）9月の東海豪雨から25年目の節目の年となるため、コミセンロビーに東海豪雨時の写真等、防災展示コーナーを設置したことを説明

＜委員より質問＞

ロビー展示はいつまで実施しているのか。

＜事務局より回答＞

7月末まで実施している。

3 協議事項

提言に向けた地域課題の協議

(1) 豊田市の地域公共交通に関する勉強会

- ・交通政策課 愛川担当長より豊田市の地域公共交通に関して説明

＜委員より質問＞

水源で実施しているカーシェアの車の維持管理は誰がしているのか。

＜交通政策課より回答＞

水源のカーシェアは、自治区とは別の「水源カーシェアさくら会」という団体が運営しており、その団体が管理している。自治区とは一切関係ないかということではなく、区長さんもさくら会に入っていたりするので、自治区とは少し離れた別団体が管理していることになる。

＜委員より質問＞

たかみお助け隊で使用しているタクシーチケットは、市から支援があるということだが、詳細はホームページなどに載っているのか。

<交通政策課より回答>

豊田市共助交通支援事業として、タクシーチケットに対して補助金を交付している。立ち上げから運行に至るまでの支援制度があり、ホームページにも掲載している。

<委員より質問>

先程のタクシーの件で、30万円で最大3回までとなっているが、1年に3回ということか。

<交通政策課より回答>

1年に1回、最大3回までということ。この補助金を立ち上げたのが昨年なので、現在のところ3回までとなっている。ただ、活用団体も増えてきているので、状況を見て継続性を検討していく。

<委員より質問>

1人暮らし高齢者にタクシー券を配布しているが、それとの併用は可能なのか。

<交通政策課より回答>

このタクシーチケットは、地域でこの事業を実施する団体が配布するもので、配布対象者もその団体が決めるので、その条件に当てはまっているなら併用は可能。

<委員より質問>

バスの運転手は2種免許が必要だと思うが、自家用車による送迎は2種免許が必要ではないのか。

<交通政策課より回答>

お助け隊の場合は利用者から運送対価をもらっているのではなく、実費相当しか受け取っていないので、普通免許で問題ない。お客さんからお金をもらって人を運ぶとなると車のナンバーも緑色になり、2種免許が必要となる。

<委員より質問>

タクシーチケットを利用した場合、お助け隊も一部負担することになっている。人を助けているのに団体負担になるのは団体に不利な気がする。

<交通政策課より回答>

確かにそうだが、この原資がどこから出ているかというとお助け隊は他にも高齢者宅の片付けやゴミ出し等を1回あたり100円ぐらいで行っており、そういった資金を利用している。また、自治区と協力をしてこの活動を行っているので、一部を自治区が負担をしている場合もある。

(2) 前林地域のこれから取り組むべき地域課題についてグループ協議

グループ協議の内容について事務局より下記のように説明

- ・意見シート集計結果をもとに、出た課題の重要度、緊急度をグループで話し合い、優先順位をつける。
- ・最優先課題の中で実際にどんなことができるか、具体的なアイデアを出し合う。

グループ協議（30分）

グループごとに発表

<Aグループ>

防災が大事だという意見もあったが、やはり地域内の交流が薄くなっているため地域交

流が優先だということになった。昔は飲食店や井戸端会議をする場所があったが、外出する時も車で出かけることが多く、触れ合う機会が減った。定期的に集まれるイベントを実施する等、地域のイベントを増やしていけたらよいのではないか。

<Bグループ>

課題は防災を選択した。組内の交流がなく、災害時に安否確認もできない、自治区に入らない人も増えている。区民の交流がないので防災活動もできない。具体的なアイデアとしては炊き出し等を実施して交流を深め、防災活動につなげていく。また、自治区で防災に対する温度差があり、自主防災会の会長が1年や2年で変わってしまう現状があるので、前林全体を統括する連合を立ち上げてその下に11自治区の自主防災会を置き、防災活動を広げていくのが良いのではないかと個人的には思っている。

<Cグループ>

選択した課題は地域交流、選択理由は魅力ある前林地域を作るため。ここにいる地域会議委員のメンバーは、それができる人たちだと思うので、ここで話し合っ魅力ある前林地域を作っていくべき。具体的なアイデアとしては、子ども達の居場所を作ること。区民会館は地域の子どもと大人が共通して集まれる場所なので、区民会館を子ども達にも開放して、テスト週間に友達と一緒に勉強できるような場所にする。例えばそこで地域の人が駄菓子を売ったりすれば地域交流が生まれるのではないか。また、地域の子ども達の声を取り入れた会議を開催したり、前林地区が一つになれるようなイベント、例えば大人の体力測定大会や、まるっと1日発表会祭りを開催するというアイデアも出た。

<Dグループ>

選択した課題は交通安全、理由は自転車通学の学生の安全確保、被害者になってほしくないということ。中学生が本当に自転車のルール等をわかっているのか疑問に思う部分もあるので、交通安全教室等でルールをしっかりと教えていく必要がある。また、歩道を自転車も通行できるような形状に整備し、樹木伐採や除草をする、カーブミラーを増設して交通安全設備の充実を図る。自転車が加害者になり得ることもあるので、自転車保険に入ることを周知する。

4 連絡事項

- (1)「豊田市平和都市宣言」について
 - ・事務局より説明
- (2)「交通死亡事故警報」の発令について
 - ・事務局より説明

★次回開催

8月15日(金)

前林交流館

午後7時～